

平城京天平祭・春 2018 実施報告

子どもも大人も楽しめる

『ものづくり広場』

辻本 信一

ゴールデンウィークのこの時期、毎年恒例となった奈良県・奈良市主催の平城京天平祭・春 2018 に、木曜日のならやま活動日を除く、5月4日(金)と5月5日(土)の両日、佐伯門東側広場に設けられた「ものづくり広場」に小間を構え「クマのペンダント」、「ジュズダマブレスレット」、「竹のブンブンゴマ」の3点の自然工作を出展しました。



【自然工作3点セット】

材料には昨年秋に採取したドングリの殻斗や竹林から切出した竹材、専用花壇で育てたジュズダマなどならやま産の材料をふんだんに使用。その加工には1ヶ月以上の期間を要し、里山グループを中心にたくさんの会員の方々の協力を得ました。

イベント当日は、多少の風はあったものの春の陽気に包まれ、県の発表によると初日3日は1万2千人、4日は1万6千人、5日は1万5千人と、昨年同様、たくさんの来場者がありました。

当会よりスタッフとして参加された方は、5月4日が14名、5日は13名で延べ27名。それ以外にもたくさんの会員の方々がご家族と共にお客さまとして私たちの小間を訪れてくれました。



【ものづくり広場入口】 【お客さま第1号】

両日とも午前10時の開始間もなく満面の笑みを浮かべた第1号のお客さまが来場。かわいいお

客さまが No.1 と番号の打たれたチケットを少し照れながら、それでも少し自慢げにそっと差し出してくれました。それを皮切りに8脚用意した席はすぐに埋まり大忙しの一日のはじまりです。

夢中に自然工作に興じるお子さんの隣では、熱心に我が子の姿をビデオに撮られる若いお父さん。どちらの家族も暖かい空気に包まれ、大型連休を存分に楽しまれている姿が印象的でした。



【パパはカメラマン】 【会場には多くの出店】

隣の会場では、野外ステージ上で歌やダンスのパフォーマンスが披露され、お客さまも一緒に拍手喝采。飲食・物品販売のお店も多数出店し、昼からも客足は途絶えず、会場内は常に熱気に包まれ大変な盛況ぶりでした。

そうした中、私たちの小間はというと、出し物のかわいさプラスお値段のお手頃感もあり連日の大入り満員。昼食時間に少し空きができた以外は午前10時の開始からチケット販売終了の4時過ぎまで、お客さまの席は常にふさがったまま。10名以上いるスタッフも、全員がお客さまの対応に追われるありさまでした。



【大入り満員】 【スタッフ全員出動】

そんな努力のかいがあつて、初日99セット(クマのペンダント、ブンブンゴマ、ジュズダマブレスレット3点で1セット)、2日目101セットと予定の合計200セットを完売いたしました。

準備段階から、本番を経て最後の片付けまで、ご協力いただきました全ての会員の皆さまにこの場をお借りして心より感謝いたします。

ありがとうございました。